

■ 大手書店と関大学長コラボによるお薦め図書100選 ■ 「**新入生に贈る100冊**」(2023年度版)を発表 ～ 今年で6年目を迎える関大独自の読書啓発企画 ～

このたび関西大学では、大手書店「丸善雄松堂」ならびに「紀伊國屋書店」と本学学長による『新入生に贈る100冊』を選定しました。2023年4月の新入生約6,700人に案内し、読書の重要性を呼びかけます。

本件のポイント

- ・関大学長・丸善雄松堂・紀伊國屋書店が「お薦めの図書100冊」を選出
- ・「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まり6年目を迎える関大独自の読書啓発企画
- ・100冊のうち約8割は電子書籍として提供。図書は親から子への贈り物として教育後援会が手配

「新入生に贈る100冊」は、「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まった、今年で6年目を迎える本学独自の読書啓発企画です。100冊は本学・前田裕学長の推薦図書20冊に加え、丸善雄松堂ならびに紀伊國屋書店の推薦図書各40冊で構成されており、100冊のうち約8割はいつでもアクセスできる電子書籍として提供。電子書籍の取り扱いがない図書も、各キャンパスの図書館での閲覧・貸出が可能です。なお、同企画の図書の手配は父母会である本学教育後援会の協力によるもので、親から子への贈り物という位置づけです。

■ 「100冊」から生まれたユニークなイベントを実施

同企画に関連して、これまで総合図書館などを舞台に様々な“本に親しむ”イベントを展開。2022年度は「100冊おみくじ」を設置し、おみくじに100冊のうちの1冊の情報を記すというシンプルな企画ながら、普段は馴染みのない分野の図書をランダムに手にできると好評で、1か月で100人が利用しました。このほか、11月には100冊から1冊の本を深く掘り下げる企画として講演会を開催し、『ひまわりは恋の形』著者の宇山佳佑氏が読書に対する考え方や作者としての想いを学生に伝えました。同企画は年間を通して、多くの学生に読書の機会を提供しています。

■ 『新入生に贈る100冊』の概要

- 「丸善雄松堂」「紀伊國屋書店」と前田裕学長がコラボ
- [前田学長推薦本] 20冊、[大手書店推薦本] 各40冊
- 「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まった開始6年目を迎える読書啓発企画
- 100冊のうち約8割は電子書籍として利用可能(2023年4月から1年間の提供)
- ▽ 電子版「新入生に贈る100冊」(2023年度版)
https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page_id=60917



以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：中村、寺崎、木田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1507 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp